

みまもりあい

地域の温かい目で

行方不明者家族

高齢化の進行とともに認知症の人は増えています。令和7年には高齢者の5人に1人が認知症になるといわれており、誰にでも起こる可能性があります。

「こまつ認知症ほっとけんSOSネットワーク」は行方不明になる恐れがある人の情報を事前に登録し、行方が分からなくなった時に情報を共有して、早期の発見・保護につなげるためのネットワークです。協力者が多いほど、早く安全に保護することができます。ぜひご協力をお願いします。



身近な人が行方不明になった時は、自分の力で探すだけでなく、できるだけ早めに警察へ届け出ましょう。行方不明に気づいてから届出までの時間が早いほど、見つかる確率は高くなります。

安心して地域で暮らし続けるための備えとして、SOSネットワークに登録しておきましょう。

- 対象者** 認知症などにより行方が分からなくなる恐れのある高齢者など
- 登録方法** 写真(顔、全身)と印鑑を持参し、長寿介護課窓口で申請

協力は簡単! ③ステップ

行方不明者の情報はみまもりあいアプリのほか、防災LINE、防災無線でもお知らせしています。

①まずは登録

無料アプリ「みまもりあい」をダウンロードして、メールアドレスを登録

②行方不明者が発生したら

アプリを通じて検索依頼の情報が届きます。周囲を見回して確認していただくだけでも構いません。

③行方不明者を発見したら

検索依頼に記載されている連絡先に連絡します。



詳しくはこちら▲

協力事業者には行方不明者の情報がFAXやメールで送られます。情報が届いたら業務に支障のない範囲で行方不明者を気かけ、もし見かけた場合は警察に連絡するなど、可能な範囲での協力、情報提供をお願いしています。11月17日現在、市内の郵便局や保険会社、タクシー会社など、158の事業者が協力事業者として登録しています。

登録していただける事業者は、長寿介護課までお問合せください。

行方不明者を無事保護しました

郵便局は、市内の全ての局が協力事業者となっています。局長全員がアプリを登録しているほか、オンライン訓練も行っています。行方不明者を見つけた際は半信半疑でしたが、アプリで届いた画像を見て本人と確信し、速やかに保護することができました。これからも地域の安心に貢献していきたいです。



小松八幡町郵便局の皆さん

いつまでもこのまちで、自分らしく生きる。

いくつになっても、これまで暮らしてきた地域で安心して暮らし続けたい。そんな思いを応援し支える、地域のつながりが、専門家が、こまつには存在します。あなたも支え合いの輪に入りませんか？

問い合わせ 長寿介護課 ☎24・8168



まずは手に入れよう!



市ホームページでダウンロードできるほか、高齢者総合相談センターなどで配布しています。

地域で自分らしく暮らし続けていくためには、病気の時や介護が必要になる時に備えて、自分の事を周囲の支援者に知っておいてもらう事が大切です。

「はつらつシニアかんじん帳」は、できる限り当事者の望みに寄り添った支援を提供したいという思いの下、医療・介護職で話し合いながら作成した市独自の手帳です。自分自身について振り返り、どのような医療・介護を受けたいといった情報などを書いて、身近な人と共有しませんか。

はつらつシニアかんじん帳で寄り添う支援

病院では、かんじん帳で血圧や症状の変化など普段の様子が分かり参考になっています。

また、介護が必要になっても、本人の思いを大切に、在宅医療と介護が連携して住み慣れた地域でその方らしい暮らしを続けるお手伝いができます。



在宅ケア連携 マネジャー 下出 弘美さん

つながりを大切に、助け合って暮らす

この町で生まれ育ったので、これからもこの町で暮らし続けたいです。娘は離れて暮らしているため、地域のつながりの大切さを日々感じます。

かんじん帳の取り組みはとてもいいことですね。健康づくりにも、いざという時のためにも、みんなで取り組みたいです。



田中 しずえさん (原町)



排泄のお悩みは「すっきりん」でスッキリしよう

排泄の問題は、家族にとって大きな介護負担となるとともに、本人の尊厳を大きく傷つけ、在宅での生活を諦める大きな要因となります。しかし、なかなか周囲に相談できず、抱え込んでいる人が多いです。

市民病院や高齢者総合相談センターなど市内17カ所に設けた相談窓口「すっきりん」では、悩みに寄り添い支援します。ぜひお気軽にご相談ください。

詳しくはこちら▶



おしっこが近くて外出が不安...

便秘がちですっきりしない...

排泄の悩みに

大事なことだけど相談しにくい